

バス路線（玉04・05系統）の運行形態変更等について

1 主旨

東急バス(株)による区内バス路線の運行形態変更等について報告する。

2 対象となる系統

玉04系統（二子玉川駅～喜多見公園～二子玉川駅）

玉05系統（二子玉川駅～宇奈根地区会館～二子玉川駅）

※玉04系統は、日中時間帯のみ玉05系統を喜多見公園まで延伸した系統

3 変更概略

欠損額が多い状況にある玉04・05系統について、東急バス(株)が輸送需要に応じた運送形態に変更することで、宇奈根・喜多見地区における交通網の維持を図る。

(1) 朝の時間帯：一定区間内を定時定路線型で循環運行

(2) 日中～夜間の時間帯：予約に応じたオンデマンド型運行

4 内容等

東急バス作成資料「世田谷区宇奈根・喜多見地区バス路線（玉04・05系統）運行形態の変更について【案】」のとおり

5 今後のスケジュール

令和4年1～2月 予約サイトなどのシステム検証運行
（検証運行中は既存路線も運行）

令和4年度以降 本格運行実施予定
（検証運行を踏まえ、実施時期を検討）

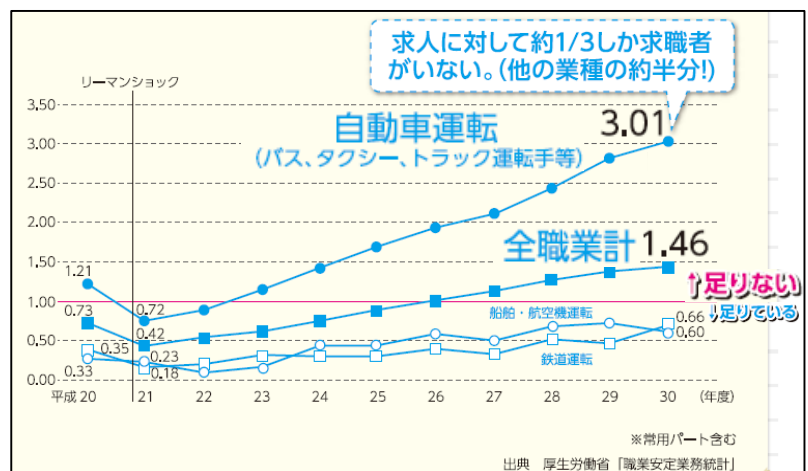
世田谷区宇奈根・喜多見地区バス路線（玉04・玉05系統）運行形態の変更について【案】

1. バス事業の現状と課題

人口減少や超高齢社会の到来など社会情勢が変化する中で、生活に身近な路線バスの役割はますます大きくなっていますが、バス事業は、大型二種免許保有者の減少・高齢化による乗務員不足の影響により、路線の維持が厳しい状況となっている中、追い打ちをかけるように新型コロナウイルス感染症の影響でバス利用者の減少や感染防止対策に係る追加コストが発生するなど、コロナ前と比べ、収支が大幅に悪化し、玉04・05系統においては、特に顕著となっております。

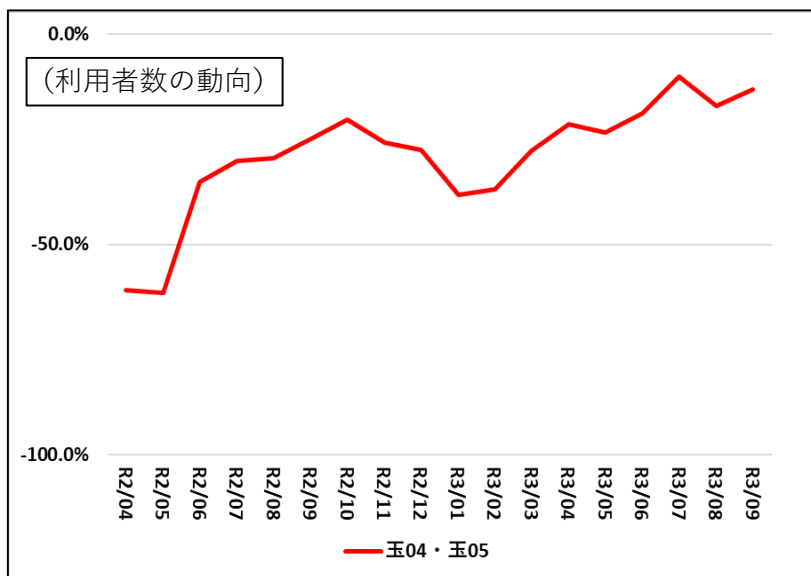
今後については、テレワークなど新たな生活様式、働き方が浸透しつつある中、公共交通利用者がコロナ前の水準に完全に回復することが考えにくく、将来にわたって、バス路線網を維持・確保していくためには、事業の体質を改善し、収支改善を図っていかねばならないと考えております。

(参考1) 国内の有効求人倍率の推移



(参考2) 新型コロナウイルス感染症拡大前と比較した玉04・玉05系統の利用動向

※コロナ前の同月比較



- ・1回目の緊急事態宣言期間中（令和2年4月・5月）はコロナ前の▲60%まで減少
- ・その後、少しずつ回復基調にあるものの、直近でもコロナ前の▲20%と減少傾向は止まらない→コロナ前の水準に回復することは考えにくい

※コロナ前（前年同月）とコロナ後の利用動向を比較している。例えば、令和元年4月の利用者を100人とした場合、令和2年4月は60%減少し40人となることを示している。

※玉04・玉05系統はコロナ前から赤字路線であった。

2. 当路線運行の経緯

- ・喜多見・宇奈根地区の住民から二子玉川方面へ出るバスの要望が寄せられていることから、世田谷区と協議し平成19年度に玉05系統の運行を開始。
- ・玉05系統の運行開始後、同年の平成19年度に喜多見住宅までのコース延長について、約1,300名の署名による要望書が区民より世田谷区に提出された。
- ・要望書を受け、世田谷区、弊社でコース延長等について協議した結果、平成25年度にコース延伸での実証運行を実施し、同年度より玉04系統の運行を開始した。

3. 当路線の現行運行ルート・時刻表（二子玉川駅発）



停留所名			
A: 喜多見公園	B: 宇奈根地区会館	C: 永安寺前	D: 砧本村

玉04・玉05系統		二子玉川駅発時刻表	
平日		土休日	
06	40		
07	03 24 49	05 45	
08	12 35 59	25	
09	22 46	05 30 50	
10	30°	14° 40°	
11	16°	08° 37°	
12	02° 48°	06° 35°	
13	34°	06° 33°	
14	20° 48°	02° 31°	
15	13° 43°	02° 28° 58°	
16	06° 36°	27° 58°	
17	03 29	30	
18	00 25 55	00 20 45	
19	20 45	05 30	
20	12 30 50	12 50	
21	12 30	30	

【凡例】 ●…玉04系統
(時計回りでB⇒A⇒C)

無印…玉05系統
(時計回りでB⇒C)

4. 運行形態変更の理由

コロナ前は一部の黒字路線の利益でその他多数の路線（玉04・玉05系統も含め）の欠損額を補填することで、会社全体で若干の利益を計上していましたが、現在では元々の黒字路線も赤字となり、それが成り立たなくなっています。

玉04・玉05系統は赤字路線の中でも、輸送規模の割に欠損額が多い状況であることから、輸送需要に応じた輸送形態に変更することで、宇奈根・喜多見地区における交通網の維持を図ります。

5. 変更後の運行形態

(1) 新しい運行形態の考え方（案）

- 朝の時間帯は、単独区間内（下図赤線）を定時定路線型で循環運行。
- 日中～夜間帯は、砧本村を起点としたオンデマンド輸送にて、お客様からの予約に応じ、ミーティングポイント（砧本村既存停留所含む）間を運行。（ワンボックス車両使用）
- 乗継停留所にて、二子玉川駅へ向かう弊社既存路線バスと接続。



※乗継停留所、ミーティングポイントについては、現在検討中のため今後変更となる可能性があります

ミーティングポイントとは

オンデマンド輸送に於いて、お客様に乗降いただく停留所のごことで、従来のバス停と異なり時刻表の設定がありません。なお、オンデマンド輸送検討範囲における玉04・玉05系統の既存バス停（天神森橋以西）については、ミーティングポイントとして設定できるよう調整を進めております。

(2) オンデマンド輸送の利用方法

- ・専用の予約サイト、もしくは電話にて、乗車時間や乗降場所を予約いただいたうえで乗車。（運賃は車内でお支払い）

(3) 運賃…大人220円、小児110円（弊社路線バスと同額）

- ・二子玉川駅方面へ（から）の弊社バスと90分以内に乗り継ぐ場合はPASMO・Suicaに限り、2回目の乗車は無料（朝の時間帯も含めて）とします。
- ・東急バス全線定期券、東京都シルバーパスも利用可能です。

6. 今後のスケジュール（予定）

- ・令和4年1月～2月 予約サイトなどのシステム検証運行（無償：1か月程度）
- ・令和4年度 本格運行実施予定（検証運行を踏まえ、具体の実施時期を検討）